

環境の変化を契機として 持続的な成長と発展を目指す



株主の皆様には、日頃より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回ご報告いたします2021年3月期の業績は、世界規模の新型コロナウイルス感染拡大が予想以上に長期化したことで、連結売上高及び連結営業利益は前年を下回る結果となりました。

先行きに対する不透明感が一段と強まる中、新しい生活様式が提唱されるなど、人々の暮らしや企業の事業環境に大きな変化がもたらされました。企業活動においても、大きな変革が求められ、今後も機動的な対応が必要になってくるものと想定しております。

昨年度の振り返り

「中期経営方針2018」(2019年3月期～2021年3月期)の最終年度を迎えた当社は、コロナ禍という経営環境の激変を新たな成長の機会と捉えた戦略の立案と実行に取り組みました。フランチャイズチェーンの維持という当社最大の責務を果たすべく、お客様、フランチャイズ加盟店、従業員の安全確保を最優先に感染防止対策を講じつつ、売上回復施策に注力してまいりました。

お客様の暮らしのリズムを整える「生活調律業」を目指す訪販グループは、高まる衛生ニーズに対応する、新商品・サービスの開発や、既存レンタル商品のウイルス減少効果の実証などの研究開発に取り組みと同時に、衛生関連商品や役務提供サービスを組み合わせた衛生パッケージを展開し、イベント会場等の衛生マネジメントにも注力しました。加えて、多くの生活者・事業者が想起する「お掃除のダスキン」から「衛生環境を整えるダスキン」へと進化を図ると共に、その認知度向上に向けた広告施策にも取り組みました。

フードグループにおいても、コロナ対策を中心とする取り組みを行いました。事業開始から50周年を迎えた主力のミスタードーナツは、イートイン需要が減退する中、“misdo

meets”等によるテイクアウト需要を取り込むプロモーションを実施しました。また、お客様の安全面に万全を期すため、お客様自身に商品をお取りいただくカフェテリア形式のすべての店舗のショーケースを扉付きへと変更いたしました。

また、各執行役員の責任明確化を図る制度見直しや、前期整備した経営陣の後継者育成プランの運用開始等、コーポレート・ガバナンス強化も図りました。

経営課題に対する今後の取り組み

激しい外部環境の変化は当面続くと想定されるため、事業ポートフォリオ経営をさらに深化させると共に、経営基盤のあり方を徹底的に改革し事業構造改革を実現してまいります。

コロナ禍を起因とした環境変化に対し、お客様が必要とされる「情報」のお届けと、宅配やテイクアウト等の新たな「流通」経路の開発を更に強化していく必要があります。

昨今、オンラインやデジタル化は著しく進展しています。大事なことはデジタル化のみを推し進めるのではなく、ダスキンの強みである“ひとにやさしいサービス”と上手く融合させ、変わりゆくお客様のニーズに対応した商品・サービスをお届けし続けたいと考えております。

サステナビリティを目指す企業として

コロナ禍においても事業活動を通じて経済・社会・環境の課題解決に向けたCSV(共通価値の創造)を推進し、3つの価値(経済価値、社会価値、環境価値)を相互に実現するためのガバナンスを強化して、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社ダスキン
代表取締役
社長執行役員 **山村輝治**

株主優待券の有効期限 延長に関するお知らせ

当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一部店舗において休業及び営業時間の短縮を実施している状況に鑑み、2020年9月30日を基準日として、2020年12月にお送りしました株主優待券の有効期限を下記のとおり延長いたしますのでお知らせいたします。

1. 対象の株主優待券
2020年12月送付済の株主優待券
(2020年9月30日権利確定分)

2. 有効期限

変更前 有効期限2021年6月30日
↓
変更後 有効期限2021年12月31日

CONTENTS (目次)

- 01 ごあいさつ
- 03 業績レポート
2021年3月期 業績の概要
- 05 ダスキンの主な出来事
2020年10月～2021年3月
- 07 経営課題に対する今後の取り組み
・訪販グループ活動状況
・フードグループ活動状況

- 13 特集
「素足の季節を気持ちよく リビングの床掃除」
- 15 ダスキン愛の輪基金
活躍する海外研修派遣生
- 16 株主優待ご利用ガイド
- 22 株主の皆様へ